令和4年度久田学園佐世保女子高等学校　自己評価表

学校教育 基本方針	少子高齢化が進む現代日本の将来をたくましく担う、実践力を備えた聡明な女性を育成する。
学校教育目標	① 愛情豊かで聡明にして健康且つ勤勉な人間を目指し、時代にふさわしい知性と教養を身につけた女性を育成する。 ② 家庭を基礎とした実践力が豊かで、人間性豊かな女性を育成する。
重点努力目標	①「ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ」の授業での指導を通し、基礎学力の向上を図る。 ② 進路実現に向け、適切なキャリア教育を実践するとともに、基礎的な礼儀作法を身につけさせる。 ③ 生徒の人間関係力の向上を図る。

※（4：よく当てはまる　3：やや当てはまる　2：あまり当てはまらない　1：全く当てはまらない ）

評価項目		具体項目	目標	具体的方策	評価 年度末	総　括	成果と課題
1　学校経営		**全教職員が共通の理念に立った学校経営の参画による教育的成果の評価**					
(1)	**学校教育目標**	学校教育の具現化	学校の実態に即した目標を設定し、教職員間の共通理解のもとに、学校教育目標の具現化を図る。	本校の教育基本方針及び教育目標を十分に理解し、本校が理想とする女性の育成のための教育実践に努める。	3.8	3.7	
				校務分掌及び学年の教育方針に学校教育目標を盛り込んで具現化し、実践する。	3.5		
				目標達成度を年度途中で評価・確認する機会を設け、その後の教育活動に生かす。	3.7		
(2)	**学級経営**	学級目標の具現化	学校目標及び学年目標に沿った学級経営を行う。	学校目標及び学年目標に沿って、学級の実態に応じた学級目標を設定し、学級経営を行う。	3.7	3.8	
				学級目標の教員・生徒への浸透を図り、その目標達成のための教育活動を展開する。	3.5		
				朝礼時にミーティングを行い、目標の達成状況、指導上の課題等について教員間での共通理解を図る。	4.0		
				3者面談を年に1回以上実施し、生徒の多面的理解を深める。	4.0		

評価項目		具体項目	目標	具体的方策	評価 年度末	総　括	成果と課題
2　教育活動		**計画的、組織的な教育活動全般における教育的成果の評価**					
（1）	**教育課程の編成**	創意工夫を生かした適切な教育課程の実施	学習指導要領の趣旨が生かされた特色ある教育課程を編成する。	多様な生徒の能力・興味・関心・進路に応じた特色ある教育課程を編成する。	3.7	3.4	教育目標について、夏季休業中などに点検する機会を設けるようにする。
				教育課程の実施に当たって、教育目標の達成状況を定期的に点検する。	3.2		
				新学習指導要領の実施にあたって、工夫を生かした教育目標を準備する。	3.3		
（2）	**教科指導等**	わかる授業の展開と工夫・改善	創意工夫がなされた学習指導を行う。	各教科科目の年間指導計画（シラバス）を作成し、学習の動機付けや意欲喚起を図り、計画的な指導内容・方法を実施する。	3.7	3.7	
				「ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ」の授業において、基礎・基本の内容を重点化した指導を行い、基礎学力・基礎技能の習得の徹底をはかる。	3.5		
				日本文化及び日本人の心を体得させ、知性と教養を兼ね備えさせるため、学校設定教科の指導の充実に努める。	3.7		
				生徒の実態に応じて、教材を精選したり、ｽﾏｰﾄﾎﾞｰﾄﾞ等の教育機器を用いたりして、指導を工夫する。	3.7		
				定期考査の得点以外の観点も評価に加味し、生徒を多面的に評価する。	4.0		
（3）	**総合的な探求の時間**	創意工夫を生かした活動	学習指導要領のねらいをふまえ、学校の特色を生かした活動を行う。	学校の特性を生かした年間計画に基づき、基礎的、基本的な知識と技術を習得し、「生活力」の向上に取り組む。	3.5	3.5	
				各学年別に計画したとおり実践し生徒の向上力を高めている。	3.5		

評価項目		具体項目	目標	具体的方策	評価 年度末	総　括	成果と課題
（4）	特別活動	HR活動及び学校行事の充実	学校の教育目標に沿った年間計画により、活発な活動を行い、生徒の実態に即した効果的な行事を行い活動内容を工夫する。	縦割りグループ活動によって、人間関係力が増し、活発なHR活動を実践する。	3.5	3.5	
				「LHR年間計画」を踏まえ、段階的且つ系統的なLHRの指導を行う。	3.2		
				効果的な学校行事になるよう、生徒の実態に即した見直しを行い、全校参加型の活動を採り入れる等、内容を工夫する。	3.8		
（5）	生徒指導	基本的習慣の確立	生徒理解に基づき、全校職員であいさつ・マナー・礼儀等のきめ細かな生徒指導を行う。	服装、容儀などについて「生徒指導年間努力目標」を中心に、生徒・保護者に説明したうえで、教職員の共通した指導を行う。	3.2	3.7	
				学校教育目標に掲げる女性像に求められるあいさつ・マナー等を身につけるため、徹底した容儀指導に努める。	3.3		
				普段の学校生活において、個別面談等を通し、生徒一人一人の実態に応じた基本的な生活習慣の確立に努める。	4.0		
			いじめ防止の徹底を図る。	いじめの実態把握や教職員の共通理解の確立に努める。	4.0		
				いじめの早期発見に努めいじめ防止を徹底する。	4.0		
（6）	進路指導	進路指導の充実	系統的・計画的な進路指導を行う。	「進路指導年間計画」に基づき、生徒が望ましい勤労観・職業観をもつことができるよう、各学年に応じた系統的指導に努める。	3.7	3.5	
				進路実現に向け、進路情報の提供、講演会の実施、個人面談等を行う。	3.7		
				ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟの実施等を通し、社会人に求められるたくましさと態度等を育成する。	3.2		
（7）	教育相談	教育相談の充実	生徒のもつ悩みや困難の解決を援助する。	全教職員、教育相談ができるよう研修の場を設ける。	3.7	3.8	
				不登校・いじめなど生徒の動向を細かく観察し、ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰと連携し、早期に適切に対応する。	3.8		
（8）	生徒会活動	生徒会活動の充実	生徒の自発的・自主的な活動を支援する。	生徒会行事に生徒が主体的に参加できるような工夫と呼びかけを行う。	3.8	3.8	
				生徒の自発性・自主性が発揮され、活発な生徒会活動を展開できるよう支援する。	3.7		

評価項目		具体項目	目標	具体的方策	評価 年度末	総　括	成果と課題
（9）	健康・安全教育	健康や安全に対する態度の育成	健康・安全な生活を送るための指導を行う。	生徒の心身の健康について、分掌主任及び担任等の連携を密にした指導を行う。	3.8	3.8	
				安全確保について生徒や保護者への啓発を促し、「危機安全ﾏﾆｭｱﾙ」に基づき、組織的に対応できる危機管理体制を整える。	3.5		
				心身の健康づくりを推進するため、「食育」に関する取り組みを計画的に実践する。	4.0		
（10）	人権・同和教育	人権尊重に対する普遍的価値観の醸成	人権尊重に関するさまざまな課題を認識させ、解決のための実践力を身につけさせる。	体系的な人権・同和教育計画に基づき、生徒が人権課題を解決しようとする態度を育成する。	3.2	3.2	人権・同和教育について、年間を通して計画的に取り組める用、年度当初、年間指導計画を作成する。
				教職員の認識の深化と指導力の向上を図るため、校外研修に参加するとともに、校内における教員研修を行う。	3.2		
（11）	ボランティア活動	3Sクラブ活動の充実	ボランティア活動を通して、奉仕の心と郷土を愛する心を育成する。	久田学園佐世保女子高等学校3Sﾎﾞﾗﾝﾃｨｱクラブの意義を理解し、生徒の自主的な参加を促し、活動の活性化を図る。	3.8	3.8	
（12）	個別指導	個を生かす指導の充実	個に応じた指導の一環として、学習支援、各種資格取得を奨励する。	生徒の意欲的な生き方への支援を積極的に行い、個々の生徒に応じ、学習及び資格取得に関する適切な指導助言を行う。	3.7	3.7	

評価項目		具体項目	目標	具体的方策	評価 年度末	総　括	成果と課題
3　組織運営		**教育活動の円滑化、教師集団の協働性に関わる教育的成果の評価**					
（1）	**校務分掌**	適切な役割分担、組織的な活動と運営	各自の役割分担が明確であり、分担に応じ適切に校務を処理する。	前年度の各分掌の課題を確認し、その課題解決を図るよう努力する。	3.8	3.8	
				各校務分掌の活動について組織的・計画的に評価を行い、資料等の記録・保存にも努める。	3.7		
				各分野での話し合いの結果を教職員に周知し、教職員同士が協力し合いながら校務遂行に当たる。	4.0		
（2）	**校内研修**	研修体制の確立と実践	計画的・組織的に授業研究等を行う。	校内での教員相互の授業公開による授業研究や外部講師による各種講演会を実施する。	3.2	3.5	
				各種研修会へ積極的・計画的に参加し、資質向上を図る。	3.3		
			体罰の防止と徹底を図る。	体罰についての理解を深める。	3.8		
				体罰防止に対する意識を高める。	3.8		
（3）	**目標管理**	教職員の資質向上	学校活性化のために各自目標を設定し、自己申告を行う。	教職員が設定した目標の達成状況等について、適切に評価する。	3.5	3.4	目標管理シートの項目の中に、資質向上への取り組みを記入し、意識しながら、日々の指導に当たるようにする。
				学校活性化に向けて積極的な提言を行う。	3.3		
4　教育環境		**学校の置かれている条件や環境に関わる教育的成果の評価**					
（1）	**学校環境の整備**	潤いのある生活環境の整備	日々の清掃を充実させ、美化意識を高める。	全校生徒、全教職員で積極的に清掃活動に取り組む。	3.2	3.3	職員作業日等を設定し、環境整備に当たる機会を設定する。
			生徒会の生活環境委員会を通じて花いっぱい運動を積極的に行う。	生徒会を中心にして、計画的に花の植栽及び管理を実施する。	3.3		
（2）	**施設・設備の管理**	施設・設備の活用と安全管理	施設・設備の有効な活用が図られ安全点検等の管理を適切に行う。	必要な施設・設備の整備を行うとともに、有効活用を工夫し、安全点検も定期的に行う。	3.5	3.5	
（3）	**情報機器の充実**	教育活動全般の情報化	パソコン等を使った校務処理を適切に行う	パソコンによる校務処理を積極的に推進するとともに、データの共有化をはかる。	4.0	3.9	
		ホームページの更新	ホームページを見やすくし、定期的に更新する。	一般の方が理解しやすいホームページを作成するとともに、定期的更新を行い、常に新しい学校情報を提供する。	3.8		

評価項目		具体項目	目標	具体的方策	評価 年度末	総　括	成果と課題
5　開かれた学校づくり							
（1）	**保護者との連携**	協力体制の確立	生徒に関する情報を相互に交換する。	個々の生活について、学校と保護者が緊密に連携を保ち、相互に連絡を取り合う。	**4.0**	**3.9**	
		育友会、後援会、同窓会活動の充実	育友会との協働に努め、会からの支援も受けながら、会の活性化をはかる。	教職員も積極的に育友会・後援会・同窓会の活動に参加し、保護者と協力して活動の活性化に努める。	**3.7**		
（2）	**地域や関係機関との連携**	協力体制の確立	学校方針や具体的教育活動についての情報を提供する。	市内中学校等に学校の教育方針を知らせ、相互の情報交換を行う。	**3.8**	**3.5**	
		学校間連携の充実	他校や異校種との必要に応じた効果的な連携を行う。	地域の学校等と連携した行事等を積極的に計画し、相互交流を図る。	**3.3**		
		教育活動の啓発	新聞等による教育活動の発信に努める。	各種報道機関への情報提供を積極的に行い、新聞及び地元メディアを通した啓発に努力する。	**3.5**		

評価項目		具体項目	目標	具体的方策	評価 年度末	総　括	成果と課題
6　新型コロナウイルス感染拡大予防							
コロナ禍の対応		感染予防を最優先にした対応	年間を通して適切な授業日の確保に努める。	学年閉鎖を実施したが、授業時間等の不足分を十分補った。	**3.7**	**3.9**	
			行事の実施工夫を工夫する	行事の趣旨を踏まえながら、実施時間・場所・参加人数等を限定し実施した。	**4.0**		
			生徒・保護者へ様々な変更について理解を求める。	年間を通し変更に関する文書を発出に併せて担任等からに説明に努めた。	**4.0**		